

みんなと話せる、楽しめる

認知症カフェでホッとひといき



認知症が疑われる症状が増えてくると、誰しも不安になるもの。そんな不安を本人や家族だけで抱え込まずに相談したり、楽しい時間を一緒に過ごしたりできるのが「認知症カフェ」です。

現在多久市内では2つの認知症カフェが定期的に開催中。気になる人はぜひ、足を運んでみてはいかがでしょうか。

認知症カフェとは？

オランダのアルツハイマーカフェを源流に、世界各地へ広まった「認知症カフェ」。厚生労働省の調査によるところ、日本では令和2年度時点でも、7,737のカフェが運営されています。

多くは月1～2回の開催で、講話や体験活動、座談会、相談会などを実施。認知症に悩む本人はもちろん、支えるご家族や専門スタッフ、地域のみなさんの参加を歓迎するカフェも多数あります。

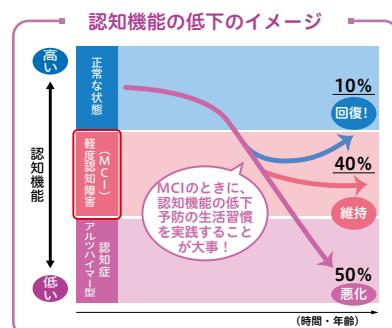
2025年には高齢者の約5人に1人がなると見込まれる認知症。早期に対策を取れば約10%が改善し、約40%は悪化を防ぐことができます。まずは、家族で認知症カフェへ行ってみて、楽しみながら認知症のことを考えてみませんか？

多久市認知症ケアパス

認知症の進行に合わせた適切なサービス提供の流れをまとめたものです。ぜひご確認ください！



・地域包括支援課
・市内の病院や施設で配布しています



認知症カフェに行ってみよう♪



問 地域包括支援課 ☎ 75-6033